

なみえの未来をともにつくります



議会だより

2007.5.1
No. 116



3月定例会

追跡どうなったあの質問……………P 2～3
一般会計・特別会計・補正予算……………P 4～11
一般質問 8人登壇……………P12～17
傍聴人インタビュー・行政視察レポート……………P18～19

追跡

どなった？あの質問

114
浪江拡幅

早期完成
早期着工

第2工区

第1工区

要望

114号浪江拡幅の進ちよに関する質問は、一般質問や特別委員会においても幾度となく質問が出されています。町民からの強い要望も出されていることから、浪江町議会国道114号拡幅促進特別委員会（佐々木英夫委員長）は、平成19年1月19日、福島県知事をはじめ県土木部に対し国道114号拡幅に関する要望活動を行いました。

国道114号浪江拡幅の推進は、常磐道浪江ICの開通予定の平成23年に併せて進められています。早期着工が望まれる中、平成18年度に道路景観設計の概要が示されていますが、その構想が実施設計に極力反映されるよう要望しました。

本事業は用地補償開始から7年を経過し、更地になってからの期間も長くなっていることから、第1工区の早期完成を要望しました。

第2工区は第1工区の完成後に検討すると言われていますが、事業説明会では、第1工区の道路工事に入れば、第2工区に着手したいと説明されており、沿線関係者から早期着手について極めて強い要望が出されています。

新知事に要望書を提出

山本幸男議会議長は、昨秋の福島県知事選挙において初当選された佐藤雄平新知事に対し「平成23年の常磐道浪江ICの開通に併せ、国道114号浪江拡幅事業の第1工区を完成させたいと言われてきたことから、ぜひ、早期に完成させてください。」浪江拡幅事業は、常磐道のアクセス道路として位置付けされており、その機能を発揮するためには、第2工区（約450m、国道6号に接続）完成が不可欠であり、投資効果の観点から早期の着手について改めて要望していただきたいこと。」など要望を行いました。

要望書

国道 114 号 浪江拡幅事業の推進について

当町の建設行政につきましては、日頃から格別なご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、国道 114 号浪江拡幅整備事業は、一部の本体工事に着手されましたが、計画区間の整備が早期に完成されますよう、町民一重に願望するところであります。

本事業は、高速道路のアクセス及び、町中の慢性的な渋滞の解消を図る事業として推進されておりますが、浪江町議会、国道 114 号浪江拡幅促進特別委員会と沿線住民との懇談会を重ねる中で、国道 6 号まで早期に整備されなければ、本事業の整備効果が得られないとされ、是非、第 2 工区の推進について強く要望されております。

公共事業の取巻く環境は、益々厳しくなる状況下において誠に恐縮とは存じますが、現状をご賢察いただきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 一、景観に配慮した道路整備を推進すること。
- 二、第 1 工区の早期完成を図ること。
- 三、第 2 工区の調査事業に着手すること。



実現するよう努力すると回答

佐藤雄平知事は「要望は賜りました。実現するよう努力します。税制改革に伴う、公共事業費の財源確保は大変厳しい状況で土木費予算は 1000 億円を割っている。従って必要な事業は推進し見直しすべき事業は休止もありうる、新規事業は基本的に採択しない方針でいる。常磐高速の開通をにらんだ

国道 114 号浪江拡幅は重点事業として、第 1 工区を推進することに変わりはない。第 2 工区については、第 1 工区の進捗状況を見ながら推進することとなる。」などと答えました。

第 2 工区の着工を要望

県土木部（蛭田公雄部長）

への要望活動では「平成 19 年度予算が決まる中で平成 22 年まで第 1 工区にかかる完成目標が確定的であることから、第 2 工区の着手を強く要望していたきたい。」また「第 2 工区は、第 1 工区の完成後に検討すると言われていますが、平成 11 年〜平成 12 年の事業説明会では、第 1 工区の道路工事に入れば、第 2 工区に着手したいと説明されており、沿線関係者から強く早期着手の要望が出されていること。また、第 2 工区の完成（国道 6 号に接続）によって、常磐道のアクセス道路機能が発揮できることから、早期の着手を改めて要望する。」など積極的な要望活動を行いました。

県知事に要望



◆要望先リスト◆

県知事 佐藤 雄平
 県土木部長 蛭田 公雄
 同 技監 藤田 保雄
 同 理事兼政策監 三瓶 博文

同 企画技術領域総括参事 高橋 善清
 同 道路領域総括参事 高木 明義

◆要望者名簿◆

町議会国道 114 号拡幅促進特別委員会

議長 山本 幸夫
 委員 佐々木 英夫
 副委員長 田尻 良作
 委員 佐藤 一夫
 委員 橋爪 光雄
 委員 鈴木 辰行
 委員 佐々木 文寿
 委員 吉田 孝一
 委員 山本 孝一
 委員 馬場 績

新年度
予算

地方交付税

3%

6950万円の減

一般会計

68億9100万円と微減

億円を議決

未来の子供に対し大きな責任があります

平成19年第1回浪江町議会定例会が3月7日から20日までの14日間の会期で開催され、一般質問は8人が登壇して活発な質疑が交わされました。

今議会に提案された議案は、浪江町課設置条例の一部改正、土地の取得、浪江町個人情報保護条例の制定、平成19年度一般会計予算など37の議案、議員発議による意見書5件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

請願・陳情では、請願書3件（採択）・陳情書2件（採択）が審議され、意見書4件を関係機関に提出しました。

さらに、文教・厚生常任委員会より所管事務調査報告がありました。



平成19年度

予算総額 135

子育て・健康増進課を新設

課の設置条例の一部改正

ふれあいセンターに、健康福祉課の健康係と統括保育所長の所管業務を合体し、新たに「子育て・健康増進課」を設置することに決まりました。今後の浪江町における児童福祉施設のあり方を含め、

次世代育成計画の推進のための拠点となります。併せて、住民の健康増進と国民健康保険や介護保険等の医療費負担軽減の観点から保健福祉課との連携を図りながら健康増進を推進することとしました。

町営高瀬球場を改修

グラウンド内の土入替え、バックネット張替え等（4700万円）

町営高瀬球場は、昭和56年度に建設されており、設備の老朽化が激しく、近年ではここを大会会場として使用せず、近隣町村へ変更してしまうといったことが度々見受けられました。これは、本町にとっても、技術の高い競技者を見る機会を減らすだけでなく、生涯スポーツとしての競

技人口までも減らすことにもつながります。工事の内容は、平成18年度は両側のダックアウトとフェンスの外周について改修工事を実施いたしました。平成19年度については、グラウンド内の土の入れ替え並びにバックネットの張替えと、その他附帯工事を実施する計画となっております。

一般会計

Q 新エネルギービジョン策定事業とは

A 個人の太陽光発電等設置事業です

質問 新エネルギービジョン策定事業とはどんな事業か。また規模ほどの程度か。
企画調整課長 700万円の国からの補助で、20年度以降の事業となり、今年度は策定プランに取りかかる補助金です。規模は個人の太陽光発電等設置にかかる費用の約24万円程度に補助がでる見込みです。まだ確定ではありません。

個人ができる地球温暖化防止プラン



Q 合併浄化槽の普及は
A 公共下水道の計画区域外に普及したい

質問 合併浄化槽の今後の普及は。
上下水道課長 公共下水道の計画区域以外の地域には合併浄化槽が重要な施設です。

特に水源上流部の津島地区、また荻野・大堀地区などは普及しなければなりません。今後、回覧等説明会を開催しながらPRに努めます。

Q 津波ハザードマップの周知は
A 海岸地域の方々に配布したい

質問 県で作成した基礎資料に基づいて津波ハザードマップを作成することになったが委託先と町民への周知は。
住民生活課長 設計の段階で委託先は決めていません。また、入札になることから金額は控えます。県のほうで早急に検討し、海岸地域の方々に配付するようにします。



津波ハザードマップの作成が求められている

私の意見を聞いて



住民が参画できる
開かれた議会づくりを
目指そう

朝田 英洋
権現堂

地方議会の果たす役割は大きく広がり、その責任はさらに増えています。議会がいかに関心・理解・支持される活動を展開したらよいか、また、いかに信頼を勝ち得るかをテーマに、議会活性化策を検討すべきではないだろうか。

特に、議会と住民が今日的な町政における課題やそれに対応する政策の形成・決定の過程の情報を公開・共有し、議員は、住民に対し説明責任を果たすことが重要になってきている時代です。議会改革や議会活性化といった取組みが極めて重要視されていると思います。

安心して過ごせる、
春休みを

内城 由美
酒井



今年も、春休みがやってきました。共稼ぎで、放課後児童クラブを利用している親にとって悩む時期です。夏・冬休みの長期休暇は開所する児童クラブですが4/1~入学式までの一週間程度は休みに入ってしまうからです。

この一週何をどのように乗り切るかが問題です。子供を持つ親の悩みです。毎年要望書を提出しているのですが、希望が叶えられません。一週間仕事を休むことは難しく家で子供達だけで過ごす家庭も増えています。

行政の都合で子供達の安全が守られない浪江町では、子供達は健全で豊に育たないと思います。



めざせ、
請戸のホッキ貝の
ブランド化！

落合 正由
請戸

自分たちが水揚げしたホッキ貝は、近隣のどこの産地よりも味も形も引けをとらないし、甘味があって美味しく、自信をもって市場に出せるものと常々思っています。なぜ他地区のブランド名で出荷しているのか不満に思っている方も多いと思います。今こそ「ホッキ貝は請戸産」を目指して力を入れていかなければと思います。ぜひ漁協や町観光協会等の連携協力で実現して欲しいと願っています。

Q 有害鳥獣対策は
A 狩猟期間以外でも許可申請できます

質問 有害鳥獣対策としてイノシシの被害について年々拡大しているが狩猟の制限はあるのか。

産業振興課長

狩猟期間は頭数の制限はなく11月15日から2月15日までです。狩猟期間以外は銃器で5頭、罠で5頭になっています。狩猟鳥獣の種類は狐、狸、ハクビシン、イノシシ、鹿、鳥等、数種類に渡っています。許可申請については浪江町で出来ます。



拡大する有害鳥獣被害

Q 木造住宅耐震診断対策は
A 広くPRする必要があります

質問 木造住宅耐震診断委託料と浪江町住宅耐震性確保対策地域経済活性化奨励金の内容は。

建設課長

今後想定される大地震が発生する以前に広く住民にPRする必要があります。耐震診断委託料と地域経済活性化奨励金とはその診断、改修に上限30万円を浪江町商品券をもって支給することです。

また、この制度は

①浪江町に本店を置く建設業者が
②昭和57年1月以前に建てられ
③耐震改修事業費が30万円以上であること。
④過去にその様な制度の利用がないことが条件です。

新設された木造住宅耐震補助制度

誰でもできる
わが家の耐震診断

監修 国土交通省住宅局
編集 株式会社 日本建築防災協会



「戻ってきてね」と
願いを込めて

Q 都市との交流事業に鮭稚魚放流は
A 前向きに検討します

質問

友好都市の交流事業の一環として首都圏の子供達へ、鮭稚魚の放流をさせ鮭の生態について学習をし、請戸川の自然と鮭をPRしながら

ら首都圏との交流を図っては
いかがか。

町長

夢のある事業と思います。前向きに検討していきます。

Q 泉田川漁協振興補助金は
A 観光資源が伸びるようにしたい

質問

泉田川漁協振興補助金及び採卵鮭稚魚自主放流は、補助金を出した後の意見交換をどうしているのか。また放流の時期の検討は。

産業振興課長 将来的には漁協理事と協議して、観光資源が伸ばせるよう検討していきます。

Q 津島活性化センターの風呂利用増は
A ミニデイサービスを取り入れます

質問

津島活性化センターの風呂は利用者が少ないが利用者増の方法は検討しているのか。

産業振興課長

平均になると1日1人の計算になります。今年から施設の風呂利用にミニデイサービスを取り入れて週2回、保健サイドで介護教室の開催等を行っていきます。

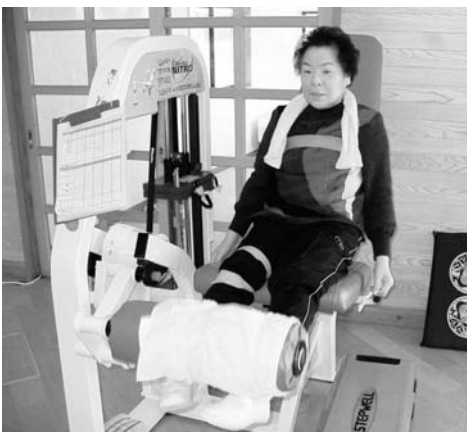
Q 高齢者筋トレの充実は
A 午前・午後の2回実施したい

質問

高齢者筋力トレーニングはしらうめ荘に移設したが、事業の拡大と充実は図れるのか。

健康福祉課長

午前と午後の2回のサイクルになりますので、受講生も増員できます。運動指導員2名、看護師1名と介護補助員1名の4名体制で行います。



めざせ健康高齢者



もったいないお風呂の設備

特別会計

平成19年度特別会計予算は、国民健康保険事業など66億1544万円、対前年度比5・7%の増で決定しました。

公共下水道事業 特別会計予算

予算総額は7億8661万円
対前年比6・1%の増である。歳入の主なものは、国・

県支出金1億3000万円、繰入金3億1198万円、町債1億9250万円である。歳出は公共下水道事業費4億2201万円、公債費3億6302万円である。
(全会一致で可決)

A Q

公共下水道の企業診断を

汚水・環境の浄化問題は避けられません

質問 年間5億円の下水道事業費は町財政を圧迫する元凶です、企業診断を含めもう一度考え直すべきです。

町長 政策判断の立場で

言えば汚水の浄化、環境の浄化問題は避けられませんが、計画したところは恩恵を受ける平等さを考慮し計画を実現させなければならないと思います。

質問 下水道事業は莫大な

投資になるが加入戸数一戸あたりの投資額は、
上下水道課長 単純計算で一戸あたり480万円の投資額になります。



財政の圧迫と環境問題のはざま

水道事業会計予算

本年度は給水戸数で6400戸、年間総給水量217万6000m³、1日平均給水量は5960m³と定め、主要な建設改良工事は拡張費958万円・配水設備改良費2億4

850万円としました。収益的収支では、収入で3億5913万円、支出で3億2653万円とし、資本的収支では、収入で2336万円、支出で3億2281万円の予算としました。
(全会一致で可決)

A Q

双葉町への給水がなくなるが

南相馬市小高区への給水を検討中です

質問 木戸ダムの完成で双葉町への給水がなくなるので、対応策は。

上下水道課長 現在、南相馬市小高区への給水を協議検討中です。

補正予算

○平成18年度浪江町一般会計補正予算(第6号)(賛成多数で可決)

A Q

中山間地域等直接支払事業の減額理由は会計検査院の指摘により精査した結果です

質問 交付金288万3000円の減額の理由と、18年度の交付総額はいくらか、

また17年度との比較は、
産業振興課長 当初は、4021万6000円を計上し

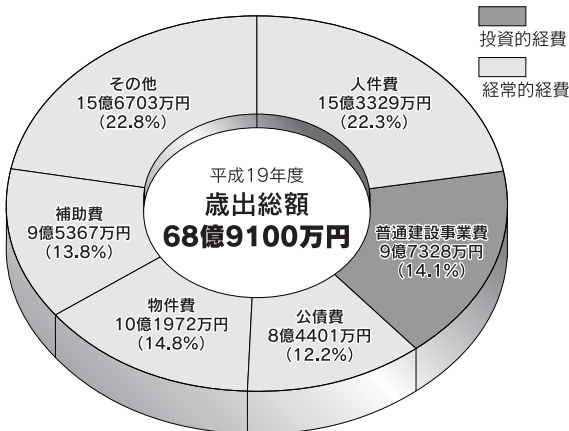
主な自主財源

町 税
 分担金及び負担金
 使用料及び手数料
 財産収入
 繰入金
 諸収入

主な国県依存財源

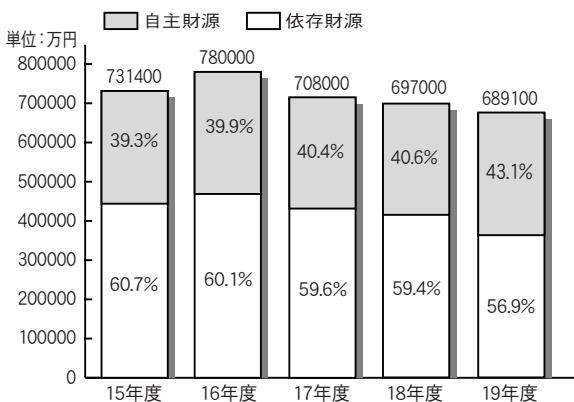
地方譲与税
 地方消費税交付金
 地方交付税
 国庫支出金
 県支出金
 町債

一般会計性質別構成



1人あたり納める税金 9万5240円
 1人あたりに使われるお金 32万3309円

一般会計当初予算と自主・依存財源の推移



中山間地域の草刈り作業

ましたが、4月の会計検査院の指摘を受け精査した結果、減となりました。交付総額は3821万6827円です。17年度との比較は、17年度

面積で295万853㎡、交付額で4021万6827円です。面積で11万3121㎡の減、交付額で200万52円

Q 町長等の給与カットの理由は責任の所在を明らかにするためです

質問 提案理由は、中山間地域直接支払の返還金の責任だと思いますが、その算出基準は、町長 金額を補填するとい

う意味ではなく、社会通念上、その責任の所在を明らかにするという事です。

Q 中山間地域等直接支払事業の交付金返還理由は対象外の農地が含まれていたためです

質問 515万8000円の交付金返還理由は、また、町費分も含めるといくらになるのか。産業振興課長 農用地区域の指定がなされている農用地に、

対象外とされる田の畦畔等が含まれていたためで事務上の誤りでした。町の分も合わせると687万7042円の誤交付額となります。

第1回 定例会の採決状況

(※議案第2号の土地…棚塩字砂田地内 約3万7千平方メートル)

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の増加及び同組合規約の変更について)	承認
議案第2号	土地の取得について	原案可決
議案第3号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
議案第4号	浪江町個人情報保護条例の制定について	原案可決
議案第5号	地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第6号	浪江町副町長定数条例の制定について	原案可決
議案第7号	町長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	浪江町課設置条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	浪江町特別会計設置条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	浪江町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	浪江町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	浪江町重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	浪江町消防団設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	浪江町重度障害者訪問入浴サービス手数料条例の廃止について	原案可決
議案第18号	双葉地方広域市町村圏組合規約の変更について	原案可決
議案第19号	平成18年度浪江町一般会計補正予算(第6号)	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議案第20号	平成18年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第21号	平成18年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第22号	平成18年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第23号	平成18年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第24号	平成18年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第25号	平成18年度浪江町水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第26号	平成19年度浪江町一般会計予算	原案可決
議案第27号	平成19年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成19年度浪江町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成19年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計予算	原案可決
議案第30号	平成19年度浪江町老人保健特別会計予算	原案可決
議案第31号	平成19年度浪江町工業団地造成事業特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成19年度浪江町公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第33号	平成19年度浪江町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	平成19年度浪江町介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第35号	平成19年度浪江町財産区管理事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	平成19年度浪江町水道事業会計予算	原案可決
議案第37号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決

一般質問



町政と問

8 議員が質問

■ 橋爪光雄 議員

- (1) 子育て支援について
- (2) 医療支援について
- (3) 雇用対策について
- (4) 耐震対策と防災について

■ 田尻良作 議員

- (1) 地域医療の充実について
- (2) 紅房桜について
- (3) 農業振興について

■ 紺野榮重 議員

- (1) まちづくり意見交換会の件
- (2) 学校教育の件

■ 佐々木 茂 議員

- (1) 養豚場の臭い及び水質の対策について
- (2) 猪、猿について
- (3) 二地域居住について

■ 吉田数博 議員

- (1) 鳥獣害対策について
- (2) 道路改良について

■ 渡邊文星 議員

- (1) 住民監査請求について
- (2) 教育行政について
- (3) 行財政について

■ 佐々木 英夫 議員

- (1) 町民と高齢者の安心して住める町づくりについて
- (2) 人にやさしい町
- (3) 地方における危機管理について
- (4) 歴史資料の管理

■ 馬場 績 議員

- (1) 「構造改革」路線による貧困と格差問題について
- (2) 入札制度改善について
- (3) 東京電力のデータ改ざん問題について
- (4) 農業問題と地域振興について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ550字以内に要約しておりますので、ご了承ください。



避難訓練（請戸小）

Q
児童手当（乳幼児加算）の月額支給額が倍増決定・対象児童数は

A
平成19年6月支給開始・乳幼児39名に月額1万円支給



橋爪 光雄 議員

積極的な子育て支援を

質問 3歳未満の乳幼児、第1子、第2子に児童手当支給額が、平成19年4月から現行の5000円から1万円に倍増となる。対象児童数と支給対応計画は。

健康福祉課長 対象児童は、被用者及び特例給付で273名、被用者126名合計399名。24

94万円を見積りしています。万全を尽くして対応します。

企業誘致に積極的な取り組みを

質問 企業誘致活動の実態と工業団地整備計画は。

企画調整課長 西工業団地の双葉精器の撤退後、新たな企業進出がない状況です。南工業団地については、当初の造成計画を一部変更し、比較的地盤の安定した山林部分をプロックごとに分けて造成し、企業誘致に対処すべく開発をすることができないか検討している段階です。

安心安全の街づくりを

質問 一般住宅を含む耐震改修促進計画は。

建設課長 公共施設の耐震診断は、平成17年度末で対象施設が20施設。内耐震診断済が8施設です。耐震工事が完了している施設は3施設。内訳は、浪江中学校校舎、浪江小学校校舎、浪江東中学校校舎。一般住宅の耐震診断は、平成17年度から浪江町木造住宅耐震診断者派遣事業の実施要項を定めて、耐震診断者派遣事業を始めています。平成17年度は5件、平成18年度は10件の実績となっています。平成19年度は10件の予算計上をしています。

Q
安心して子供が生める医療環境の充実は

A
満足はしていないが機能は果たしている



田尻 良作 議員

質問 県立大野病院産婦人科閉鎖事件で他病院の産科に集中している。産科の医療環境体制に問題は無いのか。

町長 国の医療制度改革で地域医療に影響が生じています。現実的に県立の産婦人科は裁判中で再開は現状では難しい状況です。

地域医療サービスを後退させない

安全で安心できる地域医療の充実を目指せ

いため医師を含めた医療現場の人材確保を図り、医療環境の充実にしていきます。

紅房桜でまちおこし

質問 紅房桜をまちづくりにどのように生かすのか。

産業振興課長 この貴重な桜を後世に伝え、町をあげて大事に守り育てることを基本とし、町民の憩いと交流の場としてふさわしいところへ植栽します。

将来的に観光の拠点としての位置付けを考え、浪江町を紅房桜の町として地域づくりを計画していきます。

農業の振興を図れ

質問 大豆の生産規模拡大をはかり町の特産物にする考えは。

産業振興課長 産地づくり対策等の支援策で年々作付面積が拡大されています。町としては一層の拡大推進を図っていきます。特産品としての考えは安定供給、有利な販売の対策など課題点があります。

質問 耕作放棄地の再利用対策は。

産業振興課長 遊休農地解消のために優良事例の情報を提供し、地域の創意工夫のもとに具体的な行動に移されるよう地域に働きかけます。



産科医療の充実

Q 原2号線改良計画は

A 雨水を分水する等、流末対象を検討後改良を図る



吉田 数博 議員

質問 酒田地内通称黒橋の東、原2号線未整備区間を早急に改良し、下流域の土砂災害防止や生活排水対策に資することが求められています、その対策は。

町長 雨水を分散する等地元の理解を得られるよう区域間の調整に努め、中長期的な補助事業で取り組んでいきます。

有害鳥獣対策を早急に

質問 被害が著しい猪・猿等の被害対策が急務です。駆除や捕獲対策のみでなく、進入の要因を絶つ、追い払い対策、資材を活用するなど住み分けを図る対策が有効と思います。

そのためのプロジェクトチームの立ち上げ、同時にモデル地区を設定し、実証、検証を行うべきと思うがどのような対策をとるか。



拡幅が待たれる原2号線

町長 当面、町・被害地域や駆除隊を含めた関係者で情報交換会を開催するなど体制強化を急ぎます。

その後、提案を戴きました牛等の放牧による遊休農地の解消、餌となる放置された実のなる木の伐採や、住み分けを図る対象を含め、農地への野生鳥獣の侵入を防ぐための展示圃などの設置なども、視野に入れながら対策を進めてまいります。

Q 住民監査請求の是正勧告を町は受け入れたのか

A 監査結果を尊重し受け入れた



渡邊 文星 議員

区長会が行った署名活動の住民監査請求に対する監査委員の是正勧告の内容は評価するが、監査結果のあり方を問う。

質問 区長会理事会の決定を機関決定と認識するのか。

代表監査委員 監査内容は、会の運営に関与すべきではありません。

質問 署名活動の業務を行った町職員の仕事は。

代表監査委員 活動の手足・道具の役割で、運営には関与していません。

質問 医師会への費用負担の監査を行ったのか。

代表監査委員 事実が確認できません。本請求には理由がないと判断しました。

質問 区長会の署名活動の費用は、区長会で処理していると、

町長 鋭意をもって最後まで争ってまいります。

教育長の事務委任は

質問 不服申し立てに関わる決定書を教育長名で行うのは、越権行為だと思いますか。

教育長 意図的に越権したのではなく、今後は条例を遵守します。

行政機構のあり方は

質問 長期総合計画を単年度毎に成果を検証するシステムはありますか。

企画調整課長 政策調整会議の幹事会で検討を進めている。19年度早々に構築する。



建設が進む老健施設



馬場 積 議員

A
会社の体質を見守りたい
Q
東京電力のウソ、議会に説明を求めよ

質問 東京電力のデータ改ざん、事故隠しは重大である。議会に対し説明責任を求めよ。
町長 東電は隠し抜こうとしていたのではありません。悪しき体質を一掃しようという姿勢もみられます。

経営規模での農業支援の線引きは止めるべき

質問 4月から本格実施される

質問 鮫川村の「手・まめ・館」研修に参加しました。3人の職員を派遣してバックアップしている。
町長 ご指摘のことも含めて検討中です。

津島支所の機能強化と今後の改善方向は

質問 鮫川村の「手・まめ・館」研修に参加しました。3人の職員を派遣してバックアップしている。

質問 排除された農家支援が重要。遊休農地の活用、有力産品に取り組み協同組織、経営改善に取り組み受委託組織など今日的集落活動に対する町独自の支援を検討すべき。
産業振興課長 19年度は950万円の産地づくり交付金を計上しています。

今回は臨界隠し（朝日新聞 3月31日付）



望まれる観光拠点整備

A
高齢者が安心して住める町は
Q
高齢者が安心して住める町は
P
高齢者が安心して住める町は
プ
ホームがあります



佐々木英夫 議員

質問 高齢者が安心して住める町として、認知症の人や高齢者が入院出来る施設がないが、解決

健康福祉課長 高齢者や認知症の方々はグループホームがあり地域密着型のサービスをしています。
質問 人にやさしい町づくりとして、潤いと安らぎ、住んでる場所の素晴らしさを生かしたり、

生活と風景の再生、特産品の成果を出すための人づくりは。
企画調整課長 平成15年度に浪江町町民参加条例を制定してあります。
建設課長 114号線に絡んで景観設計と言う形で計画をします。景観設計でも、景観設計の精神を生かしたいと思っています。また生活の再生として紅房桜を長田河川敷に植え自然空間を生かしたいと思います。
産業振興課長 人づくりと特産品については、高瀬川渓谷の観光拠点整備や地場産品の魚介類、

梨、柿、米、野菜等の販路を開拓することと販路拡大の人づくりの育成に取り組むのが課題と認識しております。
質問 地方における危機管理について、地震、津波、風水害等の自然災害、テロ、武力攻撃は大丈夫か。
住民生活課長 地震や津波は、平成19年度にハザードマップを作成したいと思っています。また年1回の防災訓練を通じ未然防止に努めます。
テロ、武力攻撃には浪江町国民保護計画を策定中ですので県と協議をしながら進めて行きたいと思

皆さんから出された

請願 陳情

採択された

請願

○県道落合浪江線改良工事
について

〔請願者〕

小丸行政区長

安部 弘康 外2名

○日本農業に甚大な打撃を
与える日豪FTAの交渉
の中止とFTA・EPA
促進路線の転換を求め
る請願

〔請願者〕

福島県浜通り農民運動連合会

代表者 杉 和昌

○日豪EPA交渉に関する

請願書

〔請願者〕

ふたば農業協同組合

代表理事組合長 志賀 秀榮

採択された

陳情

○公共サービスの安易な民
間開放に反対し、国民生
活の「安心・安全」の確
立を求める陳情書

〔陳情者〕

全労働省労働組合福島支部

執行委員長 石川 臣栄

○福島県最低賃金の引き上
げと早期発効を求める意
見書提出の陳情について

〔陳情者〕

日本労働組合総連合会双

葉地区連合会

議長 渡邊 明典

議員発議の

意見書

○日本農業に甚大な打撃を
与える日豪FTAの交渉

の中止とFTA・EPA
促進路線の転換を求める
意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 農林水産大臣

○日豪EPA交渉に関する
意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

内閣官房

長官 外務大臣 農林水

産大臣 経済産業大臣

○公共サービスの安易な民
間開放に反対し、国民生
活の「安心・安全」の確
立を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 総務大臣

厚生労働大臣

○福島県最低賃金の引き上
げと早期発効を求める意
見書

〔提出先〕

福島労働局長

可決された

議員発議

○議長不信任の決議について

◆政治家からの寄附禁止

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので、注意してください。

◆禁止されている寄附(例)

- ×ボランティア団体への寄附
- ×赤い羽根・緑の羽根共同募金への寄附
- ×病院見舞い
- ×祭りへの寄附や差入れ
- ×地域の運動会やスポーツ大会への
飲食物の差入れ
- ×秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
- ×秘書等が代理で出席する場合の香典
- ×葬式の花輪、供花

- ×歳末助け合い募金への寄附
- ×災害義援金への寄附
- ×町内会の集会や旅行等の催物
- ×落成式、開店祝の花輪
- ×町内会の集会や旅行等の催物
への寸志や飲食物の差入れ
- ×入学式、卒業祝
- ×お中元、お歳暮

「贈らない」「求めない」
「受け取らない」の
「三ない運動」を
徹底しましょう！





3月議会傍聴人：延べ人数 53人
気軽に傍聴してください。

小さな意見を大切に



瀧 真琴 さん
(権現堂)

●傍聴のきっかけは？
知り合いの方に誘われたのがきっかけでした。どんな事をしているのか少々興味もありました。

●傍聴された感想はどうでしたか？
役場にこんな立派な議場があったことにびっくりしました。
また、議会での真剣な取り組みの姿に感動しました。
町民との距離感があることも感じました。

●議員に対する要望がありますか？
これからの町のために今後とも真剣に取り組む頑張ってもらえればと思っています。住民の様々な考え方を反映させるためには何ができるのかということを追求してほしいと思います。

●議会や町政に対する要望がありますか？
厳しい財政状況の中ではありますが、町独自の発想とこれからの展開に期待しております。
新しい発想や小さな意見に耳を傾けて努力して下さい。

「公僕精神」を期待します



小田切安廣 さん
(中上ノ原)

●傍聴のきっかけは？
平成10年6月より年4回の定例議会を体調不良・所用不在以外毎回継続して現在まで傍聴しています。
きっかけは、以前から傍聴したいと云う気持ちがありましたので…

●傍聴された感想はどうでしたか？
平成15年頃以降ベテラン議員の引退に伴い、若手議員が多く活気ある議会になり質問議員も毎回多く、真剣に取り組んでいる姿勢に好感をもっています。

●議員に対する要望がありますか？
特にありませんが、敢て申し上げれば、国や県の所管に属する内容の質問は差し控えて頂きたいと思います。

●議会や町政に対する要望がありますか？
国の債務残高つまり借金が832兆円、国民一人当たり651万円、それが何らかの形で厳しい町財政にしわ寄せされる事も予想されます。
議員各位には新しい発想を、町職員の方には従来より更に一層担当職務の遂行に精励される事を期待します。尚、死語化されつつある「公僕精神」を思い起こして頂ければ幸甚です。

私の意見を聞いて



醸造文化でまちおこし

大坊 雅一
権現堂

醸造は文化。町内には酒造店が3軒、麴店が4軒あります。いわき市を除く浜通りでは特筆すべき事で浪江町の財産だと思います。

醸造文化は最近の健康指向ともあいまって、今後町を活性化するもののひとつとなります。

これを今までの産業、観光と共に押し出して、「まちおこし」の一助と出来ないものかと思います。

忘れないで家庭の味



大武 弘子
立野

いつでもどこでも好きな食べ物が簡単に手に入る便利な時代になりました。近年、添加物入りの簡単に食べられる物が、安全な米、季節の野菜にとって代わり、家庭の味が消えてしまい、お金さえあれば美味しいけれど何でも買えるような時代になりました。

しかし、便利にお腹を満たすだけでいいのでしょうか。

日本の食文化を真剣に考えていかなければならない時期に来ていると思います。



住みよい浪江町に乾杯

砂金 洋市
権現堂

浪江町はいい町です。

多くの自然に囲まれ、気候も温暖で、災害も少なく、人口も2万人そこそこ多すぎず少なすぎず、ちょうどいいかなーと思うところがあります。アフターファイブには地場取り立ての新鮮な農産物や海産物と、うまい地酒で、1日の疲れを癒し大変満足しています。これからも住みよい町でありつづける事を祈念して今夜も乾杯したいと思います。

地域共生型電源開発特別委員会

平成19年2月14～15日

行政視察レポート

原子力発電所の安全性について重大な岐路にさしかかっています。
しかし、私達は今原子力と共生を図ることが地域社会にとって最も重要であることを認識しなければなりません。
そうした点を踏まえて特別委員会として、日本原子力研究開発機構と東芝磯子エンジニアリングセンターを訪問しました。それぞれ再処理コストや地下処分、更にプルサーマルの進捗状況、原子力格納器等の研修

地域共生型電源開発特別委員会は、町の当面する課題について視察研修を行いました。



地下処分の意見交換

及び意見交換を行いました。安全性の確保に向けた取り組みについて一定の理解をしました。

議会を傍聴してみませんか？

携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってからお入りください

❖ 傍聴人心得 ❖

- 傍聴人は議場に入ってはならない。
- 傍聴席においては、次の事項を守らなければならない。
 - 議場における言論に対して賛否を表明し、又拍手をしないこと。
 - 静かに傍聴し、私語、談笑等議事の妨害になるような行為をしないこと。
 - はちまき、たすき類をする等示威的行為をしないこと。
 - 帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により、議長の許可を得た時は、この限りではない。
 - 飲食又は喫煙しないこと。
 - みだりに席を離れ、又は不体裁な行為をしないこと。
 - その他議場の秩序を乱し、会議の品位を傷つけると認められるような行為をしないこと。
- 傍聴人は傍聴において写真等を撮影し、又は録音等をしようとするときは、あらかじめ議長の許可を得なければならない。
- 傍聴人は、秘密会を開く議決があったときは、速やかに退場しなければならない。
- 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

116号
表紙より

4月15日、浪江町婦人消防隊（隊長・木幡豊子）は浪江町消防団春季検閲式に出動し町長の検閲を受けました。婦人消防隊は、住民に対する防火思想の普及啓発をはじめ、消防団と連携しながら住民とともに防火防災訓練を実施するなど、さらなる安心安全のまちづくりを推進しています。



郷土愛が育む観光資源

鈴木 照 美 (請戸字本町)

請戸地区厳寒の恒例行事、安波様が執行され無事に終了、ほっとしているところです。いわき、相馬の漁業関係者から、毎年お祭りをしてくれるから安心して海に出られるね、と声を掛けていただきます。以前は漁業従事者が中心となっていたので祭りが、後継者不足や諸々の事業ができませんでした。時の流れと共に大切な伝統を守りきれぬかどうか心配もありましたが、心ある年配の方々の励ましの言葉を頂き有難く感じていました。

ここ数年総代さんの努力のもと、若い人達の協力で変化はあっても何とか執行することができました。長い年月、女性の裏方の参加はありませんでした。自宅にもお客様をお迎えするため、お祭りのお手伝いは出来ないという理由でしたが、現在は婦人会の方たちの御奉仕を頂きたいへん有難く思っています。地元への神社の伝統行事を知ってもらい、地域との繋がりが重要な事を再認識しながら、郷土愛を大切に育てていきたいと思っ

ています。
3月21日、東京方面からの団体参拝があり、浜通りの歴史、史跡を訪ねられました。これといって自慢できる浜通りではないと思っても、他地域から見るとまだまだ発掘できる観光が埋もれているものだと感じました。
私たちの住む地域を見直して、みる時期が来ていると同時に、住民一丸となって郷土を盛り上げていかなければと思っ

編集後記

志しとは心の向かうところ、心のめざすところとある。また、相手が寄せてくれる厚意、親切心、情愛でもある。

志し合えば呉越も昆弟たり。(鄒陽伝)
【志しが合えば疎遠な者も兄弟のように親しくなる。】

志しを立て、その目的に信念をもって実現する決意が感動と友情を育むことであろう。

それぞれの旅立ちで良き運命との出会いを望む。

3月定例議会も白熱した議論展開の末、平成19年度の予算も決定し、順風満帆とはいかずとも創意工夫をして進む所存です。(記・佐藤一男)

- 議長 山本 幸男
委員長 佐々木恵寿
副委員長 佐藤 一男
委員 佐藤 文子/委員 小黒 敬三
委員 田尻 良作/委員 横山 精一



議会活動の近況

2月		3月		4月	
2日	文教・厚生常任委員会	2日	議会運営委員会	12日	議会報編集特別委員会
7日	産業・建設常任委員会	7～20日	第1回定例議会	16日	議会運営委員会
14～15日	地域共生型電源開発 特別委員会視察研修			19日	議会報編集特別委員会
23日	文教・厚生常任委員会			23日	議会運営委員会
27日	産業・建設常任委員会				
27日	双葉地方広域市町村圏組合定例会				

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですのでお声をお寄せ下さい。